

第56回 SCCJセミナー開催のご案内

SDGs と化粧品の未来 ～環境、資源、ジェンダーを考える～

本セミナーでは化粧品開発に携わる研究者・技術者の皆様の知識を深めるため、様々な領域・分野からテーマ選定をしてみました。

今回は、「SDGs(持続可能な開発目標)」に焦点を当て、SDGsの基礎から環境問題、また、化粧品業界や食品業界での具体的な取り組み事例と海洋プラスチック問題、さらにジェンダー・多様性の受容といった幅広いテーマについてご講演いただきます。

また、COVID-19感染状況を踏まえ、今回はオンライン(ウェビナー)にて開催いたします。

本セミナーの特徴である各講師に直接質問ができるフリーディスカッションもウェブ会議の機能を活用して実施いたします。講師の皆様に直接質問し議論することにより、聴講するだけでは得られない新たな知識や皆様の業務に役立つヒントを得る場になるものと思います。

ご案内

開催日程 2021年2月19日(金) 10:20～18:40(ログイン受付開始10:00予定)

開催方法 オンライン開催(ライブ配信)
※Zoomを使用。一部の講演は動画配信となる場合があります。

申込期間 2020年12月21日(月)～2021年2月4日(木)23時59分 [締切厳守]

参加費	(1) SCCJ 会員(正会員・準会員・シニア会員)	13,000 円
	(2) 代理 (* 正会員が不参加の場合、1名のみ会員参加費で代理参加可)	13,000 円
	(3) 一般	19,000 円

※本セミナーの領収書は発行いたしません。

金融機関の払込受領書もしくは払込完了画面を保管ください。

振込先 みずほ銀行 銀座支店 普通 No.1797932
「日本化粧品技術者会(ニホンケショウウヒンギジュツシャカイ)」

支払期限 2021年2月10日(水)までに、指定口座へお振込みをお願いします。

<お願い>

複数名合算でお振込みの際は、「お問い合わせフォーム」から事務局(本部)を選択し、振込予定日と明細(合計額、参加者名、所属企業・学校名等)をご連絡ください。

入金確認業務の円滑化にご協力をお願いいたします。

参加申込 SCCJ Webサイト内、イベント「第56回SCCJセミナー」ページよりお申し込みください。

<https://www.sccj-ifsc.com/event/detail/1017>

- (1) 会員：ログイン後、申込画面の「会員」を選択後、自動入力される情報を確認ください。
- (2) 代理：ログイン(正会員 ID のみ)後、申込画面の「代理者による参加」を選択し、代理参加者の情報欄へ必要事項をご入力ください。
- (3) 一般：申込画面より氏名、連絡先、メールアドレス等の必要事項をご入力ください。

※「会員」、「代理」の申し込みには、会員 ID とご自身で登録した任意のパスワードが必要です。

ログインせずに申し込んだ場合、「一般」参加費となりますので、ご注意ください。

※ 必ず、参加者のメールアドレスを入力してください。受付メールや閲覧パスワードは、発信専用アドレス(sccj@sccj-ifsc.com)から自動送信されます。受信設定をご確認ください。

※ Web 参加申し込みは 1 名ごとの登録が必要です。複数名まとめて申し込みはできません。

<会員 ID・パスワードをお忘れの方>

ID/パスワード照会画面 https://www.sccj-ifsc.com/lost_pass/ をご利用ください。

SCCJ へ登録済のメールアドレスをご入力ください。(登録以外のメールアドレスでは照会できません)

会員ご自身が登録した任意のパスワードは、事務局では管理しておりません。

会員 ID メール未認証の方はログインできません。「お問い合わせフォーム」からご連絡ください。

キャンセル **2021 年 2 月 10 日(水)まで**に、「お問い合わせフォーム」から、受付番号、参加者名、所属企業・学校名等をご連絡ください。

なお、参加費振込済みの場合は開催終了後に返金いたします。

※ キャンセル締切を過ぎてからのお申し出の場合、ご返金には対応いたしかねます。

オンライン開催への参加方法

セミナー当日は Zoom を利用したオンライン開催となります。

参加には最新の Zoom アプリが必要です。

Zoom アプリのダウンロードは <https://zoom.us/download> よりお願いします。

※ ブラウザ版での参加も可能ですが、Zoom アプリのご利用を推奨します。

※ PC・スマートフォン・タブレットからもアクセス可能です。

参加手順・Zoom 参加 ID/PASSWORD は、開催前日までに参加申し込みメールアドレスへご案内します。

お問合せ 日本化粧品技術者会 事務局(本部)担当：森、千葉

COVID-19 禍のため、事務局へのご連絡は

「お問い合わせフォーム」 <https://www.sccj-ifsc.com/contact> をご利用ください。

＜スケジュールと目次＞

＜総合司会 工藤 大樹 (オルビス㈱)＞

時 間	題 目・講 師
10:20-10:25	総合司会から注意事項アナウンス
10:25-10:30	開会の挨拶 セミナー委員長 植田 光一
10:30-11:30	ビジネスの必須常識となったSDGsとは何か…………… 1 CSR/SDGsコンサルタント、千葉商科大学 教授 笹谷 秀光 先生
11:30-12:20	大気汚染物質とヒトへの健康影響 ～PM2.5を中心に～…………… 19 東京薬科大学薬学部 教授 藤原 泰之 先生
12:20-12:50	休 憩
12:50-13:30	持続可能な調達による環境と社会への貢献 味の素グループの取り組み…………… 31 味の素㈱ 太田 史生 氏
13:30-14:10	乳化化粧品の低エネルギー製造…………… 39 ㈱資生堂 宮原 令二 氏
14:10-14:50	キューピーグループにおける未利用資源を活用した 資源循環の推進…………… 51 キューピー㈱ 倉田 幸治 氏
14:50-15:00	休 憩
15:00-15:50	海洋プラスチック問題の現状と 生分解性プラスチック応用技術の国際動向…………… 61 小松技術士事務所 小松 道男 氏
15:50-16:50	性別を越えるメイクアップ…………… 73 メイクアップアーティスト 西村 宏堂 氏
16:50-16:55	閉会の挨拶 セミナー副委員長 早瀬 基
17:05 開始	フリーディスカッション ＜各講師とのオンライン質疑応答コーナー＞

※緊急事態宣言発令により当初のスケジュールを変更しています。

フリーディスカッションは1時間の予定ですが、今後の状況により他の予定も含め時間が変更、短縮されることがあります。

演題 ① ビジネスの必須常識となったSDGsとは何か

CSR/SDGs コンサルタント、千葉商科大学 教授 笹谷 秀光 氏

要旨：SDGs（持続可能な開発目標）は、世界共通の持続可能な社会づくりの「羅針盤」です。これを理解しないと、世界から、日本から、いつの間にか「置いていかれる」ことになりかねません。自主的取り組みなので、どんどん差がついていきます。この点がSDGsの「怖さ」です。SDGsの17の目標のカバー範囲は極めて広く、企業統治や環境課題への対応のみならず、働き方改革、優秀な人材の確保、採用、マーケティングやブランディング、地域社会との関係など幅広いテーマをカバーし、ビジネスに必須の常識となりました。本講演ではSDGsのイロハから実践についてお伝えします。

演題 ② 大気汚染物質とヒトへの健康影響 ～PM2.5を中心に～

東京薬科大学薬学部 教授 藤原 泰之 先生

要旨：人為的な活動によって大気中の微粒子や有害物質が増加して、ヒトの健康や生活環境に悪影響を生じる状態を大気汚染といいます。大気汚染は世界で注目される環境問題の1つであり、今日、世界の主な死因の1つとなっているとされています。本講演では、大気汚染物質である微小粒子状物質（PM2.5）を中心に、大気汚染の要因とは何なのか、ヒトへの健康影響について、さらに我が国ではどのような対策が取られているのかについて紹介します。

演題 ③ 持続可能な調達による環境と社会への貢献 味の素グループの取り組み

味の素株式会社 太田 史生 氏

要旨：味の素グループは事業や社会の価値創造のうえで重要な課題のひとつに原材料の持続可能な調達を挙げている。特に紙とパーム油は森林破壊に直結する課題であるため、2020年をゴールとして持続可能な調達100%の実現に向かって取り組んできた。この取り組みは、まずゴールを設定し、社内外に宣言して取り組みを開始し、目標を目指すというバックキャストの考えで取り組んだ貴重な先例となった。その進捗と、担当者の考えを紹介する。

演題 ④ 乳化化粧品の低エネルギー製造

株式会社資生堂 宮原 令二 氏

要旨：乳化化粧品の低エネルギー製造は環境に優しいだけでなく、製造コスト削減にも繋がる。一方、製品の安定性を高めるため乳化粒子を微細にするには、より多くのせん断エネルギーを必要とする。したがって、微細な乳化粒子をより少ないエネルギーで製造することが重要となる。本講演では原料を混合するだけで超微細乳化を得る方法や濃縮されたコンデショナーのαゲル、αゲル乳液の低エネルギー製造法について基本的な考え方を述べる。

演題 ⑤ キューピーグループにおける未利用資源を活用した資源循環の推進

キューピー株式会社 倉田 幸治 氏

要旨：キューピーグループは、事業活動が与える自然への影響を十分に配慮し、資源の有効活用と環境保全に真摯に取り組むことで持続可能な社会を次世代へつなぐことを使命と考えている。本日は、SDGs「目標12：つくる責任、つかう責任」に貢献するため、業界に先駆けて進めている、野菜未利用部（カット野菜製造時に発生する端材）および卵殻・卵殻膜を活用した資源循環の取り組みについて、具体的な事例を中心に説明する。

演題 ⑥ 海洋プラスチック問題の現状と生分解性プラスチック応用技術の国際動向

小松技術士事務所 小松 道男 氏

要旨：石油由来非分解性プラスチックの海洋流出によるマイクロプラスチック汚染は、国際社会の喫緊の環境課題としてクローズアップされ、G20サミットでは大阪ブルー・オーシャン・ビジョンが首脳宣言に盛り込まれた。この課題に対する解決策の一つが生分解性プラスチックへの代替であり、欧州諸国は、先取的な取組を官民挙げて推進している。本講演では海洋プラスチック問題の正確な認識と生分解性プラスチック製品の先進事例を紹介、時流に対する示唆を試みる。

演題 ⑦ 性別を越えるメイクアップ

メイクアップアーティスト 西村 宏堂 氏

要旨：私は男性の体で生まれ、女性の心も持っています。11年間のアメリカ留学、就労を経て、日本で僧籍を取得し、現在は国際的にメイクアップアーティスト、僧侶として活動しています。私が男性としてメイクをする上で抱えた悩みや海外での体験談、また、ひげを隠す技術などトランスジェンダー女性やドラッグクイーンのメイクから学んだことを紹介いたします。LGBTQへの理解や、海外の化粧品、メイク業界の現場についてもお話いたします。